

開講学科	総合デザイン工学科		前橋工科大学 シラバス																																																											
科目名	建築設計基礎		標準対象年次	選択/必修	科目コード																																																									
			1年次	必修	18102801																																																									
担当教員	稲見成能、植木茶織(全回2名で担当)		単位数	学期	曜日	時限																																																								
			2単位	前期	木曜日	6, 7時限																																																								
授業の教育目的・目標	<p>■関連科目との関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>習得期間</th> <th colspan="5">建築設計に関する最低限必要な技術・センス・教養を習得する期間</th> <th colspan="2">建築家志向のより高度な技術・センス・教養を習得する期間</th> </tr> <tr> <th>科目名</th> <th>デザイン基礎演習Ⅰ</th> <th>デザイン基礎演習Ⅱ</th> <th>デザインCAD</th> <th>造形基礎工作</th> <th>デザイン演習Ⅰ</th> <th>デザイン演習Ⅱ</th> <th>デザイン演習Ⅲ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計・表現技術</td> <td colspan="3">一般図・トレース、図面読み取り能力、模型作製、作法、マナー</td> <td>描画、基礎デザイン</td> <td>設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD</td> <td>設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD</td> <td>左記の応用</td> </tr> <tr> <td>空間・造形センス</td> <td>線・図形への意識</td> <td>造形感覚・空間意識</td> <td></td> <td></td> <td>身体感覚・空間意識</td> <td>建築空間造形</td> <td>左記の応用 都市への意識</td> </tr> <tr> <td>建築に関する教養</td> <td>ものづくりに対する心構え</td> <td>デザインの意味</td> <td></td> <td></td> <td>建築の見方・考え方</td> <td>建築の価値</td> <td>新しい建築の在り方 都市と建築の在り方</td> </tr> <tr> <td>設計対象の身近さ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>近</td> <td></td> <td>遠</td> </tr> <tr> <td>設計対象の規模</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>小</td> <td></td> <td>大</td> </tr> </tbody> </table> <p>図面の描き方を知る最初の授業。  新築であっても既存建築であっても建築物の成り立ちを正確に伝えるための手段として図面という存在がある。図面は建築設計、建築施工など建築の様々な場面で、一般社会で私たちがコミュニケーションをとる際に用いる言葉と同様の役割を持つ。そこで正確に図面を描き、また、読む能力を学生が身に付けることを授業の最大の目的とする。  この授業は、手で図面を描かせる。授業内容は学生が空間、立体を正確に捉えるための訓練から始め、正確に図面化する能力を身に付けるために、単純な立体から複雑な実際の建築物へと、次第に課題を難しくしていき、自分の頭で考える習慣をつけることにより、CADに製図手法が移行した場合でも正確な図面をつくるための応用力をつけさせることを目標とする。</p>						習得期間	建築設計に関する最低限必要な技術・センス・教養を習得する期間					建築家志向のより高度な技術・センス・教養を習得する期間		科目名	デザイン基礎演習Ⅰ	デザイン基礎演習Ⅱ	デザインCAD	造形基礎工作	デザイン演習Ⅰ	デザイン演習Ⅱ	デザイン演習Ⅲ	設計・表現技術	一般図・トレース、図面読み取り能力、模型作製、作法、マナー			描画、基礎デザイン	設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD	設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD	左記の応用	空間・造形センス	線・図形への意識	造形感覚・空間意識			身体感覚・空間意識	建築空間造形	左記の応用 都市への意識	建築に関する教養	ものづくりに対する心構え	デザインの意味			建築の見方・考え方	建築の価値	新しい建築の在り方 都市と建築の在り方	設計対象の身近さ					近		遠	設計対象の規模					小		大
習得期間	建築設計に関する最低限必要な技術・センス・教養を習得する期間					建築家志向のより高度な技術・センス・教養を習得する期間																																																								
科目名	デザイン基礎演習Ⅰ	デザイン基礎演習Ⅱ	デザインCAD	造形基礎工作	デザイン演習Ⅰ	デザイン演習Ⅱ	デザイン演習Ⅲ																																																							
設計・表現技術	一般図・トレース、図面読み取り能力、模型作製、作法、マナー			描画、基礎デザイン	設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD	設計過程、一般図、コンセプトメイキング、プレゼン、CAD	左記の応用																																																							
空間・造形センス	線・図形への意識	造形感覚・空間意識			身体感覚・空間意識	建築空間造形	左記の応用 都市への意識																																																							
建築に関する教養	ものづくりに対する心構え	デザインの意味			建築の見方・考え方	建築の価値	新しい建築の在り方 都市と建築の在り方																																																							
設計対象の身近さ					近		遠																																																							
設計対象の規模					小		大																																																							
学科の学習・教育目標との関係	・製図及び作図関連の学修を通じて、設計者の構想、デザインを視覚化し、自由に表現することのできる技術と能力を養う。																																																													
キーワード	設計図、製図、作図、トレース																																																													
授業の概要	当授業では造形物としての建築がもつ特徴である空間及び立体に馴染むために、それらを把握するための練習を行う。次に空間的、立体的造形物を二次元の図面上で表現するための基本的な製図の作成方法について学習する。基本的作図法を学んだ後に、自分で設計したものを図面化する。																																																													
授業の計画	第1回: 製図の役割について講術－立体把握のための即日課題(全担当教員) 第2回: 線の引き方の解説－水平線の練習(全担当教員) 第3回: 線の種類と意味について解説－垂直線、斜め線の練習(全担当教員) 第4回: 平面/立面/断面図の関係について解説－立体的絵から平・立・断を起こす練習Ⅰ(全担当教員) 第5回: 立体的な絵から平面図、立面図、断面図を起こす練習Ⅱ(全担当教員) 第6回: アイソメトリック図の描き方について解説－アイソメトリック図の練習Ⅰ(全担当教員) 第7回: アイソメトリック図の練習Ⅱ(全担当教員) 第8回: アイソメトリック図から平面・立面・断面図を起こす練習(全担当教員) 第9回: エラズリス邸の平面・立面・断面図からアイソメトリック図を起こす練習Ⅰ(全担当教員) 第10回: エラズリス邸の平面・立面・断面図からアイソメトリック図を起こす練習Ⅱ(全担当教員) 第11回: 平面図の作図法について解説－フィッシャー邸1/100平面図の練習Ⅰ(全担当教員) 第12回: フィッシャー邸1/100平面図の練習Ⅱ(全担当教員) 第13回: 立面図の作図法について解説－フィッシャー邸1/100立面図の練習(全担当教員) 第14回: 断面図の作図法について解説－フィッシャー邸1/100断面図の練習(全担当教員) 第15回: ペン立ての設計を行い、平面図、立面図、断面図、アイソメトリック図を作図する(全担当教員)																																																													
受講条件・関連科目	課題作成のためには全授業出席が前提となる。 関連科目: 造形基礎工作																																																													
授業方法	授業当日の作業内容および作業方法を授業開始時に解説し、それに従い実際に課題作成を行う。 担当教員、T.A.が授業時間内、学生各個人に直接指導する。																																																													

テキスト・参考書	毎回プリントを配布。 教科書:『やさしく学ぶ建築製図』松下希和著, エクスナレッジムック
成績評価	・期末試験( %) ・レポート( %) ・その他( 課題提出物 100%) ・小テスト( %)
履修上の注意	授業前半で作業内容の説明をするので授業に遅刻しないこと。 課題の提出期限を必ず守ること。 翌週持参すべき作業用具について指示をするので忘れ物のないようにすること。